

科目名 **論理国語**

国語科 必修
2年次・2単位

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 目標
- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 - (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 - (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

位置づけ 実生活にあふれる様々な形の説明的文章や実用的文章を読み、必要に応じて読解、必要な情報の取捨選択、比読などをできるように読解能力を高めていく。三年次でも二単位実施。

■使用する教材

- ・教科書「論理国語」(第一学習社)
- ・問題集「リテラ速読レッスン文学 vol.2」(文英堂)
「マーク試験のための基本練習 現代文10」(尚文出版)
「入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500」(いっぴいな書店)

■学習する単元とおおよその時期

- ・4月～5月 A
 - 「天然知能として生きる」
 - 「自他の『間あい』」
- ・6月～8月 B
 - 「手の変幻」
 - 「働かないアリの意義がある」
- ・9月～11月 C
 - 論理概論
 - 「推論とは何か」「帰納法のワナ」
- ・12月～3月 D
 - 「A I時代の社会と法」
 - 「なぜ多様性が必要か」

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- 年間を通して、漢字の小テストを実施していきます。
- 社会常識を身につけられるよう、ニュースを見る、新聞を読むといった情報収集、意味を知らない単語の意味調べ、漢字の勉強は日常的に取り組む。

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A ・論理的な文章や実用的な文章を読むための基本的な語彙力、漢字力、語句の言い換え表現等を理解できる。	・物事に対して根拠とともに筋道立てた自分の意見を持つことができる。	・関連する知識や文章を自ら探したり、様々な既存の知識と関連付けたりしながら文章を読み、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。
	B ・上記を概ね達成できている。	・筆者の意見を的確に理解したり必要な情報を適切に引用したりできる。	・文章を読む基本的な知識技能を持とうとし、自分の考えを整理しようとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	単元テスト 小テスト 課題の提出内容	単元テスト 単元後の課題プリント 課題の提出内容	授業中の発言、参加態度 課題の提出状況、小テスト 休業中の課題の取り組み状況

■領域ごとの授業時間数について（国語科の新学習指導要領科目のみ）

単元名	「天然知能として生きる」	「自他の『間あい』」	「手の変幻」	「働かないアリに意義がある」	論理概論「推論とは何か」 「帰納法のワナ」	「AI時代の社会と法」	「何故多様性が必要か」
書くこと	3	3	3	3	6	3	3
読むこと	4	5	5	4	10	6	6

計64時間

■年間単元テストの予定

実施予定時期	実施予定内容
7月	上記の単元Aと初見の問題
8月	夏休みの課題の確認
9月	上記の単元Bと初見の問題
12月	Cの課題提出
1月	冬休みの課題の確認
3月	上記の単元Dと初見の問題

●その他に単元の確認はそのつど実施予定。